

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書		
高等部 第2学年 単一Ⅲ類型	日常生活の指導			
目標	<p>(知) 学校生活で日常的に行われる諸活動を通して、生活の自立に必要な知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思) 生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気づき、考えたことを表現しようとする。</p> <p>(学) 毎日の継続した諸活動に自分から取り組み、よりよい生活習慣の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。</p>			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
1 学期	<p>「登校時」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、靴の着脱、荷物の片付け、着替え など 「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、天気、身だしなみ確認、先生の話 など 「集団参加や集団内の役割について」 ・言葉遣い(敬語)、係活動、周囲との関わり方 など <p>「給食」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食の準備、手洗い、食事、片付け など 「トイレの使い方」 ・手洗い、うがい、衛生 など <p>「整理整頓」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・机上整理、ロッカー、更衣室の利用 など 「教室清掃」 ・係分担、掃除の仕方 など 「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法、荷物の準備、一日の振り返り、挨拶 など 「下校」 ・挨拶、靴の着脱 など 	<p>(知) 登下校の挨拶を進んでしたり、持ち物の整理、片付けをしたりすることができる。暦や時計の使い方を理解する。トイレのマナーや食事のマナーを守ることができる。</p> <p>(思) 場面に応じて自分で身だしなみを整えることができる。見聞きしたことや経験したこと、自分の意見等を相手に分かるように伝えたり、話したりすることができる。</p> <p>(学) 健康で安全な生活をするよう心掛けて行動することができる。自分の役割を理解し、他者と協力して活動しようとするすることができる。</p>	学級 個別	39
1 学期授業時数				39
2 学期	<p>「登校時」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、靴の着脱、荷物の片付け、着替え など 「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、天気、身だしなみ確認、先生の話 など 「集団参加や集団内の役割について」 ・言葉遣い(敬語)、係活動、周囲との関わり方 など <p>「給食」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食の準備、手洗い、食事、片付け など 「トイレの使い方」 ・手洗い、うがい、衛生 など <p>「整理整頓」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・机上整理、ロッカー、更衣室の利用 など 「教室清掃」 ・係分担、掃除の仕方 など 「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法、荷物の準備、一日の振り返り、挨拶 など 「下校」 ・挨拶、靴の着脱 など 	<p>(知) 登下校の挨拶を進んでしたり、持ち物の整理、片付けをしたりすることができる。時計や暦の使い方を理解する。食事のマナーを守って食べることができる。</p> <p>(思) 場面に応じて自分で身だしなみを整えることができる。見聞きしたことや経験したこと、自分の意見等を相手に分かるように話すことができる。</p> <p>(学) 健康で安全な生活をするよう心掛けて行動することができる。自分の役割を理解し、他者と協力して活動しようとするすることができる。</p>	学級 個別	45
2 学期授業時数				45
3 学期	<p>「登校時」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、靴の着脱、荷物の片付け、着替え など 「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、天気、身だしなみ確認、先生の話 など 「集団参加や集団内の役割について」 ・言葉遣い(敬語)、係活動、周囲との関わり方 など <p>「給食」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食の準備、手洗い、食事、片付け など 「トイレの使い方」 ・手洗い、うがい、衛生 など <p>「整理整頓」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・机上整理、ロッカー、更衣室の利用 など 「教室清掃」 ・係分担、掃除の仕方 など 「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法、荷物の準備、一日の振り返り、挨拶 など 「下校」 ・挨拶、靴の着脱 など 	<p>(知) 登下校の挨拶を進んでしたり、持ち物の整理、片付けをしたりすることができる。時計や暦の使い方を理解する。食事のマナーを守って食べることができる。</p> <p>(思) 場面に応じて自分で身だしなみを整えることができる。見聞きしたことや経験したこと、自分の意見等を相手に分かるように話すことができる。</p> <p>(学) 健康で安全な生活をするよう心掛けて行動することができる。自分の役割を理解し、他者と協力して活動しようとするすることができる。</p>	学級 個別	21
3 学期授業時数				21
総授業時数				105

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第2学年 単一Ⅲ類型		作業学習 (環境美化)			
目標	<p>(知) 職業について関心をもち、将来の職業生活に必要な基本的な知識や技能を身に付けることができる。</p> <p>(思) 将来の職業生活に必要な事柄を見出して自分の課題に気づき、課題を解決する力を養う。</p> <p>(学) 自分の役割について気づき、意欲や見通しをもって取り組む態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数	
1 学 期	「給食配膳・清掃」 ・給食時の配膳 ・教室等の清掃	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	学級	39	
	「オリエンテーション」 ・教室の使い方やルールの確認 ・使用する道具等の使い方 ・作業学習を始めるための準備等	(知) 作業学習の内容について知り、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動内容について理解し、目標をもつことができる。 (学) 一緒に活動する仲間と協力して活動をやり遂げようとする態度を養う。	グループ	3	
	「校内清掃」 ・清掃道具の使い方 ・廊下、階段、窓清掃 ・社会人講師による指導	(知) 清掃道具等の使い方を理解し、道具を使って適切に清掃をすることができる。 (思) 廊下、階段清掃の手順を理解して、効率良く清掃をすることができる。 作業中に発生する課題に気づき、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 (学) 自分の役割を理解し、友達と協力しながら清掃を行うことができる。	グループ	78	
	「校外清掃」 ・校外清掃計画 ・校外清掃 など	(知) 清掃道具を適切に使って、丁寧に清掃をすることができる。 (思) 清掃場所を確認して、時間内に効率良く清掃する方法を考えることができる。 (学) グループの友達と相談し、協力しながら清掃をすることができる。	グループ	20	
	「1学期のまとめ」 ・1学期のまとめや振り返り ・教室の整理整頓	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	グループ	3	
1学期授業時数				143	
2 学 期	「給食配膳・清掃」 ・給食時の配膳 ・教室等の清掃	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	学級	45	
	「校内清掃」 ・清掃道具の使い方 ・廊下、階段、窓清掃 ・社会人講師による指導	(知) 清掃道具等の使い方を理解し、基本的な操作ができる。 (思) 廊下、階段清掃の手順を理解して、工夫しながら清掃をすることができる。 作業中に発生する課題に気づき、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 (学) 自分の役割を理解し、友達と協力しながら清掃を行うことができる。	グループ	72	
	「文化祭の取組」 ・もてなし隊の取組	(知) 仕事の内容を理解して、手順通りに接客をすることができる。 (思) 感じの良い接客について考え、工夫しながら練習をすることができる。 (学) 自分の役割を理解し、責任をもって活動することができる。 友達と協力して目標を達成し、達成感を共有することができる。	グループ	25	
	「校外清掃」 ・校外清掃計画 ・校外清掃 など	(知) 清掃道具を適切に使って、丁寧に清掃をすることができる。 (思) 校外清掃を振り返り、改善点について考えることができる。 効果的な連絡、報告について考えることができる。 (学) 友達と相談し、協力しながら清掃をすることができる。	グループ	20	
	「2学期のまとめ」 ・2学期のまとめや振り返り ・教室の整理整頓	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	グループ	3	
2学期授業時数				165	
3 学 期	「給食配膳・清掃」 ・給食時の配膳 ・教室等の清掃	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	学級	21	
	「教室清掃、校内清掃」 ・教室清掃の取組 ・廊下、階段、窓の清掃	(知) 教室清掃の手順を理解し、丁寧に清掃をすることができる。 (思) 教室清掃の手順を確認して、工夫しながら清掃をすることができる。 作業中に発生する課題に気づき、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 友達と一緒に、教室を効率よく清掃する方法を考えることができる。 (学) 連絡報告を行い、友達と協力して清掃をしようとする態度を養う。	グループ	52	
	「1年間の振り返り」 ・1年間の振り返りやまとめ ・教室等の整理整頓や掃除	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	グループ	4	
3学期授業時数				77	
総授業時数				385	

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書		
高等部 第2学年 単一Ⅲ類型	作業学習 (製菓)			
目標	<p>(知) 継続して作業することで、材料の計量の仕方、作業の手順などを理解することができる。</p> <p>(思) 目的に応じて用いる道具を判断し、適切に扱う能力を身に付けることができる。</p> <p>(学) 共同作業の達成感を味わうとともに仲間と協力する力を高めることができる。 働く意欲を培い、責任をもって取り組むことで職業自立を目指すことができる。</p>			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「給食配膳・清掃」	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、見通しをもちながら活動することができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力しながら活動に取り組む態度を養う。	学級	39
	「オリエンテーション」 ・衛生指導 ・道具の名前や扱いなどを覚える	(知) 作業学習の内容について知り、見通しをもちながら活動することができる。 (思) 自分が取り組む活動内容について理解し、目標をもつことができる。 (学) 衛生面や道具の扱い方など、日頃から意識して活動しようとする態度を養う。	グループ	1
	「製品作り・販売」 ・コミュニケーションや作業のスキルアップを目指す取り組み ・校内販売に向けての製品作り ・社会人講師による指導	(知) 製品作りの手順を理解し、見通しをもちながら取り組むことができる。 (思) 自分の役割を理解し、必要な道具を準備したり、生地混ぜり具合など教師に報告したりしながら取り組むことができる。 (学) 販売への意識を高め、衛生面や丁寧さなどを意識して作業する態度を養う。	グループ	101
	「活動の振り返り」 ・1学期の活動のまとめ、振り返り	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	グループ	2
1学期授業時数				143
2 学期	「給食配膳・清掃」	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、見通しをもちながら活動することができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力しながら活動に取り組む態度を養う。	学級	45
	「製品作り・販売」 ・校内販売に向けての製品作り ・文化祭に向けての製品作り(製品の袋詰め、店作り、接客練習) ・クリスマス販売に向けての製品作り ・社会人講師による指導	(知) 製品作りや販売方法の手順を理解し、役割を果たすことができる。 (思) 接客方法について理解を深め、実践することができる。 (学) 販売への意識を高め、衛生面や丁寧さなどを意識して作業する態度を養う。	グループ	118
	「活動の振り返り」 ・2学期の活動のまとめ、振り返り	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	グループ	2
2学期授業時数				165
3 学期	「給食配膳・清掃」	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、見通しをもちながら活動することができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力しながら活動に取り組む態度を養う。	学級	21
	「製品作り・販売」 ・販売に向けての製品作り	(知) 製品作りや販売方法の手順を理解し、役割を果たすことができる。 (思) 接客方法について理解を深め、実践することができる。 (学) 販売への意識を高め、衛生面や丁寧さなどを意識して作業する態度を養う。	グループ	54
	「活動の振り返り」 ・1年間のまとめ、振り返り	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	グループ	2
3学期授業時数				77
総授業時数				385

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書		
高等部 第2学年 単一Ⅲ類型	作業学習 (木工)			
目標	<p>(知) 職業について関心をもち、将来の職業生活に必要な基本的な知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思) 将来の職業生活に必要な事柄を見出して自分の課題に気付く、課題を解決する力を養う。</p> <p>(学) 目的に応じて用いる道具を判断し、適切に扱う能力を身に付け、安全に操作する力を身に付ける。</p>			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「給食配膳・清掃」	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	学級	39
	「オリエンテーション」 ・安全面の指導 ・道具や機械の名前や扱い方などを覚える	(知) 作業学習の内容について知り、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動内容について理解し、目標をもつことができる。 (学) 目的に応じて用いる道具や機械を確認し、適切に扱うことを理解することができる。	学年 学級	1
	「製品作りをしよう」 ・木のサイコロ作り ・アルファベットのキーホルダー作り ・将棋の駒のキーホルダー作り ・カフェトレイ作り	(知) 製品作りの手順を理解し、継続して作業に取り組むことができる。 (思) 自分の役割を理解し、必要な道具を準備したり、作業のポイントを確認したりしながら取り組むことができる。 (学) 販売への意識を高め、丁寧さを意識して作業する態度を養う。	学年 学級	101
	「活動を振り返ろう」 ・1学期の活動のまとめ、振り返り	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	学年 学級	2
1学期授業時数				143
2 学期	「給食配膳・清掃」	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	学級	45
	「製品作り・販売をしよう」 ・木のサイコロ作り ・アルファベットのキーホルダー作り ・将棋の駒のキーホルダー作り ・カフェトレイ作り ・社会人講師による指導 ・文化祭に向けての製品作り（製品の袋詰め、店作り、接客練習）	(知) 製品作りや販売方法の手順を理解し、役割を果たすことができる。 (思) 文化祭の役割について理解を深め、実践することができる。 (学) 販売への意識を高め、丁寧さを意識して作業する態度を養う。	学年 学級	118
	「活動を振り返ろう」 ・2学期の活動のまとめ、振り返り	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	学年 学級	2
2学期授業時数				165
3 学期	「給食配膳・清掃」	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	学級	21
	「製品作りをしよう」 ・木のサイコロ作り ・アルファベットのキーホルダー作り ・将棋の駒のキーホルダー作り ・カフェトレイ作り ・社会人講師による指導	(知) 製品作りや販売方法の手順を理解し、役割を果たすことができる。 (思) 自分が取り組む活動内容について理解し、目標をもつことができる。 (学) 販売への意識を高め、丁寧さを意識して作業する態度を養う。	学年 学級	54
	「活動を振り返ろう」 ・3学期の活動のまとめ、振り返り	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	学年 学級	2
3学期授業時数				77
総授業時数				385

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第2学年 単一Ⅲ類型		チャレンジタイム	①道徳「きみがいちばんひかるとき 3年」(光村図書出版)		
目標	<p>(知) 集団や職場での関わり方や、社会的自立に向けて必要な知識や技能を習得できるようにする。</p> <p>(思) 集団や社会の中で自分ができることを考え、他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性やコミュニケーション力を養う。</p> <p>(学) 自分から進んで集団での活動に入り、主体的に取り組む態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	検定の取組 (自在ぼうき、ダスタークロス、パソコンなど)	/	(知) 社会的自立について理解し、継続して作業に取り組むことで工程を理解し、基本的な知識や技能を身に付ける。 (思) 作業効率や改善点を考えて、目標設定を自分で設けて、課題解決に取り組む力を養う。 (学) 自分から進んで集団での活動に取り組み、コミュニケーション能力や指示理解力を高める。	グループ	8
	サークル活動		(知) 各サークル活動において、活動のながれやルール・用具の使い方を理解することができる。 (思) 活動における改善点を考えたり、活動の嗜好や楽しさを感じたりする態度を養う。 (学) 仲間と協力して活動する態度、また、集団で活動する際のマナーや心構えを身に付ける。		2
	道徳 「生命の尊さ」	①	(知) 生命の尊さを知ることができる。 (思) 生命とは何かを考えたり、身近な生命の大切さについて表現したりすることができる。 (学) 生命あるものを大切にしようとするすることができる。	学級	5
1 学期授業時数					13
2 学期	検定の取組 (自在ぼうき、ダスタークロス、パソコンなど)	/	(知) 社会的自立について理解し、継続して作業に取り組むことで工程を理解し、基本的な知識や技能を身に付ける。 (思) 作業効率や改善点を考えて、目標設定を自分で設けて、課題解決に取り組む力を養う。 (学) 自分から進んで集団での活動に取り組み、コミュニケーション能力や指示理解力を高める。	グループ	10
	サークル活動		(知) 各サークル活動において、活動のながれやルール・用具の使い方を理解することができる。 (思) 活動における改善点を考えたり、活動の嗜好や楽しさを感じたりする態度を養う。 (学) 仲間と協力して活動する態度、また、集団で活動する際のマナーや心構えを身に付ける。		2
	道徳 「善悪の判断、自律、自由と責任」	①	(知) 良いことと悪いことを区別することができる。 (思) 是悪を自律的に判断したり、責任ある行動をしようとしてすることができる。 (学) 自分から進んで良いと思うことを行うことができる。	学級	3
2 学期授業時数					15
3 学期	サークル活動	/	(知) 各サークル活動において、活動のながれやルール・用具の使い方を理解することができる。 (思) 活動における改善点を考えたり、活動の嗜好や楽しさを感じたりする態度を養う。 (学) 仲間と協力して活動する態度、また、集団で活動する際のマナーや心構えを身に付ける	グループ	4
	道徳 「礼儀」	①	(知) 気持ちの良い挨拶や言葉遣い、動作、礼儀などを知ることができる。 (思) 気持ちの良い挨拶等について考え、実践しようとしてすることができる。 (学) 時と場をわきまえて、実践することができる。	学級	3
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
高等部 第2学年 単一Ⅲ類型	国語	①国語「改訂新版くらしに役立つ国語」(東洋館)			
目標	<p>(知) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、適切に使うことができるようにする。</p> <p>(思) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。</p> <p>(学) 言葉が持つ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を培う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「あいさつや会話をする力を高めよう」 ・尊敬語と謙譲語の使い分け ・相手の話を聞き、答える方法について知る。 ・状況によってどのように言ったら良いかを考える。	①	(知) 相手や目的に応じて、敬語を使用できるよう、その違いに注意して意識的に使い分けすることができる。 (思) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。 (学) 言葉のもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力を向上させようとする態度を培う。	学級	5
	「体育祭の思い出を書こう2」 ・体育祭の思い出を作文等で表現し、作成した作文を発表する。	①	(知) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打つことができる。 (思) 書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。 (学) 言葉のもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力を向上させようとする態度を培う。	学級	4
	「俳句・短歌を作ろう・鑑賞しよう2」 ・俳句、短歌の基礎知識を知る。 ・有名な俳句、短歌を覚える。 ・俳句、短歌を作り、発表する。 ・友達の作った俳句を鑑賞し、評価し合う。	①	(知) 生活に身近な俳句・短歌を知り、言葉の世界を広げることができる。 (思) 表現内容を具体的に想像したり、その効果を考えたりすることができる。 (学) 言葉のもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力を向上させようとする態度を培う。	学級	2
	「電話を活用しよう」 ・電話のマナーを知る。 ・欠席や遅刻(帰宅連絡)の連絡方法を練習する。	①	(知) 日常でよく使われる敬語を理解して、その場に応じて使うことができる。 (思) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。 (学) 言葉のもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力を向上させようとする態度を培う。	学級	2
1 学期授業時数					13
2 学期	「文や物語を読みとろう」【読書指導】 ・教科書や本を音読し、おおよその内容をつかむ。	①	(知) 幅広く読書に親しみ、読書に必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。 (思) 文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもつことができる。 (学) 言葉のもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力を向上させようとする態度を培う。	学級	4
	「分かれて議論しよう」 ・身近な生活の中でテーマを考える。 ・賛成意見、反対意見を考える。(メリット、デメリット) ・テーマに沿って、分かれて議論する。	①	(知) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解することができる。 (思) 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。 (学) 言葉のもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力を向上させようとする態度を培う。	学級	7
	「紹介文を書こう」 ・歴史上の人物について本やインターネットを使用して調べる。 ・調べた内容をポスターにまとめる。	①	(知) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打つことができる。 (思) 相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にすることができる。 (学) 言葉のもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力を向上させようとする態度を培う。	学級	4
2 学期授業時数					15
3 学期	「古典に親しもう」 ・百人一首かるたを楽しむ。	①	(知) 親しみやすい和歌などの文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思) 言葉の響きやリズムの表現の効果を考えることができる。 (学) 言葉のもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力を向上させようとする態度を培う。	学級	2
	「修学旅行の思い出を書こう」 ・修学旅行の思い出を作文等で表現し、作成した作文を発表する。	①	(知) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打つことができる。 (思) 書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。 (学) 言葉のもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力を向上させようとする態度を培う。	学級	5
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
高等部 第2学年 単一Ⅲ類型	数学	①数学「くらしに役立つ数学」(東洋館)			
目標	<p>(知)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けることができる。</p> <p>(思)日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。</p> <p>(学)数学的活動の楽しさや数学の良さを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してより良いものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「数と計算の学習をしよう(3)」 ・基本的な四則計算 ・3位数の加法、減法、筆算 ・4位数の加法、減法、筆算 ・小数、分数	①	(知)整数、小数、分数及び概数の意味と表し方を理解することができる。 (思)数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、数の比べ方や表し方を統合的に捉え考察する力を養う。 (学)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してより良いものを求め粘り強く考える態度、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	学級	8
	「図形の学習をしよう(2)」 ・三角形、四角形、平行四辺形、ひし形、台形 ・多角形と円 ・面積	①	(知)図形の形や大きさが決まる要素や立体を構成する要素の位置関係、図形の合同や多角形の性質について理解し、図形を作図したり、三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を求めたりする技能を身に付ける。 (思)図形を構成する要素や図形間の関係に着目して、平面図形の特徴を捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から考察することができる。 (学)図形や数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	学級	5
1学期授業時数					13
2 学期	「数と計算の学習をしよう(4)」 ・整数の四則計算 ・小数の四則計算 ・分数の四則計算	①	(知)整数、小数及び分数の計算についての意味や性質について理解し、それらを計算する技能を身に付ける。 (思)数とその表現や数量の関係に着目し、目的に合った表現方法を用いて計算の仕方を考察したりするとともに、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現する力を養う。 (学)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、数学の良さに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	学級	5
	「金銭」 ・金銭の支払い方 ・計算機を使用した計算 ・簡単な買い物学習を通して金銭を取り扱うこと	①	(知)数量とその関係を表したり、読み取ったりすることができるようにすることについての技能を身に付ける。 (思)数を構成する単位に着目して、数の表し方やその数について考えたり、扱う数の範囲を広げ、計算の仕方を見だし、筋道を立てて考えたりするとともに、日常生活の問題場面を数量に着目して捉え、処理した結果を場面をもとに振り返り、解釈及び判断する力を養う。 (学)数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことの良さを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	学級	5
	「変化の関係を学習しよう(2)」 ・伴って変わる二つの数量 ・比例と割合	①	(知)比例の関係や異種の二つの量の割合として捉えられる数量の比べ方、百分率について理解するとともに、二つの数量の関係と別の二つの数量とを比べたり、表現したりする方法についての技能を身に付ける。 (思)伴って変わる二つの数量の関係に着目し、その変化や対応の特徴を表や式を用いて考察したり、異種の二つの量の割合を用いた数量の比べ方を考察したりする力を養う。 (学)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、数学の良さに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	学級	5
2学期授業時数					15
3 学期	「数と計算の学習をしよう(5)」 ・整数の四則計算 ・小数の四則計算 ・分数の四則計算	①	(知)整数、小数及び分数の計算についての意味や性質について理解し、それらを計算する技能を身に付ける。 (思)数とその表現や数量の関係に着目し、目的に合った表現方法を用いて計算の仕方を考察したりするとともに、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現する力を養う。 (学)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、数学の良さに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	学級	4
	「データを活用しよう(2)」 ・表やグラフ	①	(知)データを円グラフや帯グラフで表す表し方や読み取り方を理解するとともに、それらの問題解決における用い方についての技能を身に付ける。 (思)目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して、表やグラフに的確に表現し、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力を養う。 (学)データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討し考える態度、数学の良さに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	学級	3
3学期授業時数					7
総授業時数					35

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
高等部 第2学年 単一Ⅲ類型	音楽	①音楽「音楽☆☆☆☆」(東京書籍)			
目標	<p>(知) 曲想と音楽の構造や背景などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(学) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学期	「季節の歌を歌おう」 ・春、夏を感じるができる曲を歌う活動。	①	(知) 歌唱の活動を通して、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりや、声の音色や響きと発声の関わりを理解し、創意工夫を生かした表現をするために必要な技能を身に付けることができる。 (知) 器楽の活動を通して、曲想と音楽の構造との関わりや、多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりを理解し、創意工夫を生かした表現をするために必要な技能を身に付けることができる。	類型 学級	4
	「合唱に取り組もう1」 ・パートに分かれて合唱に取り組む活動。	①	(知) 創作の活動を通して、いろいろな音の響きやそれらの組み合わせの特徴や、音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴を理解し、創意工夫を生かした表現をするために必要な技能を身に付けることができる。		2
	「いろいろな楽器で楽しもう」 ・いろいろな楽器でリズム打ちする活動。	①	(知) 体表現の活動を通して、曲想と音楽の構造との関わりや、曲想と体の動きとの関わりを理解し、創意工夫を生かした表現をするために必要な技能を身に付けることができる。		3
	「リズムを楽しもう」 ・いろいろなリズムを覚え、音楽に合わせて表現する活動。	①	(知) 鑑賞の活動を通して、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いたり、曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解したりすることができる。		1
	「学年集会に向けて取り組もう1」 ・学年集会に向けて、合唱や器楽に取り組む活動。	①	(思) 歌唱の活動を通して、歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫することができる。 器楽の活動を通して、器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫することができる。		2
	「鑑賞1」 ・音楽を鑑賞する活動。	①	(思) 創作の活動を通して、創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫することができる。 (思) 身体表現の活動を通して、身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫することができる。 (知) 鑑賞の活動を通して、鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどについて自分なりに考え、曲全体を味わって聴くことができる。		1
Ⅰ学期授業時数					13
Ⅱ 学期	「季節の歌を歌おう(秋・冬)」 ・秋・冬を感じるができる曲を歌う活動。 ・クリスマスソングを歌う活動。	①	(学) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。 *年間を通して指導する目標として、以上のように設定する。	類型 学級	3
	「合唱に取り組もう2」 ・二部合唱に取り組む活動。	①			4
	「合奏に取り組もう3」 ・複数の楽器パートに分かれて、合奏に取り組む活動。	①			4
	「学年集会に向けて取り組もう2」 ・学年集会に向けて、合唱や合奏に取り組む活動。	①			3
	「鑑賞2」 ・音楽を鑑賞する活動。	①			1
Ⅱ学期授業時数					15
Ⅲ 学期	「学年集会に向けて取り組もう3」 ・学年集会に向けて、合唱や合奏に取り組む活動。	①		類型 学級	3
	「心を込めて歌おう」 ・式練習の中で、姿勢や声の大きさに気を付けて歌う活動。	①			2
	「鑑賞3」 ・音楽を鑑賞する活動。	①			1
	「まとめをしよう」 ・1年間を振り返り、歌ったり演奏したりする活動。	①			1
Ⅲ学期授業時数					7
総授業時数					35

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
高等部 第2学年 単一Ⅲ類型	美術	①美術「小学館の図鑑NEOアート 図解はじめての絵画」(小学館)			
目標	<p>(知) 造形的な視点について理解し、意図に応じて自分の表現方法を工夫して表すことができる。</p> <p>(思) 造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫について考え、主題を生み出し豊かに発想して構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができる。</p> <p>(学) 楽しく美術の活動を行い、創造活動の喜びを味わったり、美術を愛好する心情を培ったりして、心豊かな生活を創造していこうとする態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「絵手紙の制作」 ○身の回りの物をモチーフにしたり、タブレット端末で撮影したモチーフの写真を利用したりして描く描画活動 ・モチーフを決めてスケッチブックに下絵制作 ・絵手紙用のはがきに墨と筆で輪郭などを描写する活動 ・顔彩を使った彩色 ・作品の展示・鑑賞	①	(知) 道具の扱い方や特徴を理解して、作品を描くことができる。 (思) 墨の濃淡や線の強弱などを意識して表現することができる。 (学) 絵手紙を描く活動を通して、創造活動への喜びを味わったり、友達の作品の良さを感じ取ったりしようとする態度を養う。	学級	5
	「生活の中からモチーフを見付けて描こう(1)」 ○身の回りの物や人をモチーフとした描画活動 ・テーマ決めと下絵制作 ・鉛筆を用いた輪郭の描写 ・クレヨンや絵の具などの道具を用いた着色 ・作品の展示・鑑賞	①	(知) 道具の扱い方や特徴を理解し、線を描いたり、色を塗ったりして、丁寧に描くことができる。 (思) 身の回りの物や人をモチーフにし、注意深く観察しながら描いて表現することができる。 (学) 作品を完成させることを通して、達成感を感じたり、友達の作品の良さを感じ取ったりしようとする態度を養う。		8
1 学期授業時数					13
2 学期	「生活の中からモチーフを見付けて描こう(2)」 ○身の回りの物や人をモチーフとした描画活動 ・テーマ決めと下絵制作 ・鉛筆を用いた輪郭の描写 ・クレヨンや絵の具などの道具を用いた着色 ・作品の展示・鑑賞	①	(知) 道具の扱い方や特徴を理解し、線を描いたり、色を塗ったりして、丁寧に描くことができる。 (思) 身の回りの物や人をモチーフにし、注意深く観察しながら描いて表現することができる。 (学) 作品を完成させることを通して、達成感を感じたり、友達の作品の良さを感じ取ったりしようとする態度を養う。	学級	5
	「スクラッチアートの制作」 ○スクラッチの技法を用いた表現 ・スクラッチの技法の理解 ・クレヨンや絵の具を用いた表現 ・作品の展示・鑑賞	①	(知) 材料や道具の扱い方を理解して、作品を作ることができる。 (思) スクラッチの技法を使い、削り方を工夫しながら表現することができる。 (学) 制作活動を通して、創造活動への喜びや達成感を感じようとする態度を養う。		10
2 学期授業時数					15
3 学期	「起き上がり小法師の制作」 ○伝統工芸品の制作活動 ・伝統工芸(会津張り子細工)の理解 ・制作工程や技法の理解 ・デザインの検討・制作 ・新聞紙や和紙、折り紙などを用いた立体作品の創作活動 ・アクリル絵の具などによる着色や描写 ・作品の展示・鑑賞	①	(知) 作り方の手順を理解し、立体を意識して道具や材料を適切に扱いながら制作することができる。 (思) 民芸の歴史や作品に触れ、伝統を踏まえながら、独自のデザインやアイデアを作品に生かして表現することができる。 (学) 鑑賞を通して、自他の作品を評価したり、お互いの良さを称え合ったりしながら、創作活動への喜びや達成感を感じようとする態度を養う。	学級	7
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
高等部 第2学年 単一Ⅲ類型	保健体育	①保健体育「改訂新版 くらしに役立つ保健体育」(東洋館)			
目標	<p>(知) 運動の楽しさや喜びを深く味わい、生活に必要な健康・安全に関する事柄の理解を深め、目的に応じた技能を身に付ける。</p> <p>(思) 運動や健康・安全について自分の課題を理解し、その解決に向けて仲間と考え判断したり、伝えたりする力を身に付ける。</p> <p>(学) 生涯にわたって運動に親しみ、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度と習慣を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学期	「体づくり運動」(体カづくり) ・体操 ・ストレッチ ・ランニング ・筋カトレーニングなど	①	(知) 体ほぐしの運動体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わいその行い方や方法を理解するとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりすることができる。 (思) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、決まりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし自主的に運動しようとする態度を養う。	類型 学級	26
	「体育祭の取組」(体操、集団演技) ・学年種目練習 ・入退場練習 ・全体練習		(知) 集団演技の内容などを理解し、基本的な動作の正しい動き方を身に付ける。 (思) 種目練習で、道具の操作を自分で工夫したり、考えたりすることができる。 (学) 仲間と協力して種目などの練習に取り組もうとする気持ちや態度を養う。	学年 類型 学級	8
	「ニュースポーツ」 ・カローリング ・ディスクゴルフ ・ポッチャなど		(知) 場所や道具の安全に気を付けて種目に取り組むことができる。 (思) ニュースポーツについての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学) ニュースポーツの多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自主的に運動する気持ちや態度を養う。	類型	2
	「新体力テスト」 ・握力・上体起こし・長座体前屈・50m走・20mシャトルラン・反復横跳び・立ち幅跳び・ハンドボール投げ		(知) 自己の体力について知ることができる。 (思) 体力テストを通して、自己の運動の課題を見付けることができる。 (学) 体力テストに主体的に取り組む気持ちや態度を養う。	類型	3
Ⅰ学期授業時数					39
Ⅱ 学期	「体づくり運動」(体カづくり) ・体操 ・ストレッチ ・ランニング ・筋カトレーニングなど	①	Ⅰ学期と同目標	類型 学級	30
	「水泳」 ・泳力測定 ・アクアビクス ・クロールなど		(知) 水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けることができる。 (思) 水泳についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動しようとする態度を養う。	類型	4
	「球技」 ・ネット型(ソフトバレーボール、バレーボール、卓球、バドミントンなど) ・ベースボール型(キックベースボール、ティールボールなど)		(知) 球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思) 球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動しようとする態度を養う。	類型	6
	「保健」(性の学習) ・思春期の心の変化 ・男女の心の違い ・自己認識 ・欲求やストレスの対処 ・性衝動のコントロール		(知) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができる。 (思) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に積極的に取り組む態度を養う。	類型 学級	2
	「ニュースポーツ」 ・カローリング ・ディスクゴルフなど		Ⅰ学期と同目標	類型	3
Ⅱ学期授業時数					45
Ⅲ 学期	「体づくり運動」(体カづくり) ・体操 ・ストレッチ ・ランニング ・筋カトレーニングなど	①	Ⅰ学期と同目標	類型 学級	14
	「陸上競技」 ・ハードル走 ・リレーなど		(知) 記録を更新する楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解することができる。 (思) 陸上競技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自主的に運動する気持ちや態度を養う。	類型	3
	「ダンス」(体育祭の取組) ・学年種目練習(「南中ソーラン」など)		(知) ダンスの楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、技能を身に付け、表現や踊りを通じた交流をすることができる。 (思) ダンスについての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学) ダンスの多様な経験を通して、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をする態度を養う。	類型	4
Ⅲ学期授業時数					21
総授業時数					105

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
高等部 第2学年 単一Ⅲ類型	職業	①「ひとりだちするための進路学習」(日本教育研究出版社)			
目標	<p>(知) 職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思) 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。</p> <p>(学) よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「オリエンテーション」 ・1年間の学習の予定	①	(知) 職業科の一年間の学習予定について知り、活動に見通しをもつ。 (思) 将来の職業生活について、考えることができる。 (学) よりよい将来の職業生活の実現に向けて、取り組もうとする態度を養う。	学級	2
	「職場体験実習2 事前学習」 ・実習への心構え(JST講話) ・職種等の希望(JST面談) ・目標設定 ・実習先での決まりとマナー ・態度と身だしなみ ・帰宅連絡の仕方 ・職業生活に必要な健康管理	①	(知) 職場実習での基本的な態度や服装、仕事内容を理解することができる。 (思) 職場実習に向けて意欲や見通しをもち、昨年度の実習の成果と課題を基に目標を考えることができる。 (学) 勤労に対する意欲や関心を高めて、取り組もうとする態度を養う。	学級	6
	「ビジネスマナー2(1)」 ・面接の基本 ・メモの取り方 ・清潔と身だしなみ ・言葉遣いと態度 ・職場における基本的なコミュニケーション	①	(知) 基本的な面接のマナーとメモの取り方について知ることができる。 (思) 職場での適切なコミュニケーションの取り方を他者と協働しながら考えることができる。 (学) 職場での基本的な言葉を遣うロールプレイングを行うことで実践的な力を養う。	学級	5
1学期授業時数					13
2 学期	「職場体験実習2 事後学習」 ・実習における目標の達成割合の自己評価 ・実習報告会	①	(知) 実習における目標の達成割合の自己評価の方法を知ることができる。 (思) 実習を振り返り、成果と課題を明確にして、成果を評価したり、課題に対する解決策を考えたりする力を養う。 (学) 実習での課題を克服して、将来の職業生活に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。	類型	4
	「ビジネスマナー2(2)」 ・通勤時に気を付けること ・職場での過ごし方 ・職場における言葉遣いや敬語 ・職場でよく使う言葉	①	(知) 通勤時に気を付けることや職場での適切な過ごし方について知ることができる。 (思) 職場での適切なコミュニケーションの取り方を他者と協働しながら考えることができる。 (学) 職場での基本的な言葉を遣うロールプレイングを行うことで実践的な力を養う。	学級	5
	「職場体験実習3 事前学習」 ・実習への心構え ・職種等の希望(JST面談) ・目標設定 ・態度と身だしなみ ・評価内容の理解	①	(知) 職場実習での基本的な態度や服装、仕事内容を理解することができる。 (思) 職場実習に向けて意欲や見通しをもち、前回の実習の成果と課題を基に希望する職種や目標を考えることができる。 (学) 勤労に対する意欲や関心を高めて、取り組もうとする態度を養う。	学級	6
2学期授業時数					15
3 学期	「卒業生から学ぶ(卒業後の生活)」 ・卒業後の社会生活について	①	(知) 卒業生による卒業後の生活についてを知ることができる。 (思) 卒業生の話聞いて、自分の進路に向けて、成果と課題を明確にし解決策を考え、表現することができる。 (学) 将来の職業生活に向けて、課題を改善しようとする実践的な態度を養う。	2・3年Ⅲ類型	2
	「職場体験実習3 事後学習」 ・実習における目標の達成割合の自己評価 ・実習報告会 ・進路希望について ・電話・携帯・スマートフォン	①	(知) 実習における目標の達成割合の自己評価の方法を知ることができる。 (思) 実習を振り返り、成果と課題を明確にして、成果を評価し、課題に対する解決策や進路希望について考え、表現する力を養う。 (学) 実習での課題を克服して、将来の職業生活に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。	学級	2
	「職業相談に向けた取組」 ・職業相談について ・面接練習等 ・職業生活に必要な健康管理	①	(知) 職業相談の意義と役割について知ることができる。 (思) 職業相談の面接で、自分のことを表現する力を養う。 (学) 職業相談の面接に向けて、意欲をもって取り組もうとする態度を養う。	学級	2
	「1年間のまとめ」 ・2年生の振り返り ・卒業後の進路について	①	(知) 卒業後の生活について具体的なイメージをもつことができる。 (思) 自分の将来の生活について具体的にイメージし、職種等の希望について考えることができる。 (学) 将来の職業生活に向けて、課題に取り組もうとする態度を養う。	学級	1
3学期授業時数					7
総授業時数					35

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
高等部 第2学年 単一Ⅲ類型	家庭	①家庭「職業・家庭たのしい家庭科 わたしのくらしに生かす」 (開隆堂出版)			
目標	<p>(知) 家族や自分の役割について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思) 家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。</p> <p>(学) 家族や地域の人々との関りを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学 期	「オリエンテーション」 ・1年間の学習内容について	①	(知) 家庭の1年間の学習予定について知り、活動に見通しをもつ。 (思) 将来の家庭生活について、考えようとする力を養う。 (学) 学んだことを生かし、家庭生活に取り入れる態度を養う。	類型 学級	1
	「衣服をきれいにしよう」 ・衣服の素材 ・衣類の表示 ・アイロンのかけ方	①	(知) 衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れ方法を知る。 (思) 日常着の手入れをより良く仕上げるための工夫について気付いたり、考えたり、表現したりすることができる。 (学) 日常着の手入れ方法を理解し、主体的に行おうとする態度を養う	類型 学級	4
	「食事の計画をたてよう」 ・昼食メニューの検討 ・食品の選び方 ・調理実習	①	(知) 食事作りの手順として献立をたて、食品の選び方や保存方法を知る。 (思) 献立をたて、適切な食品の選び方や保存方法を含めた食事計画をたてる力を養う。 (学) 家庭においても、食事の計画を日常生活においても、取り入れる態度を養う。	類型 学級	8
1 学期授業時数					13
2 学 期	「上手な買い物しよう」 ・購入方法 ・支払方法	①	(知) 物品の購入方法や支払い方法の特徴や注意点を知る。 (思) お金の使い方について自分自身を振り返り、考えることができる。 (学) 学んだことを日常生活においても、実践しようとする態度を養う。	類型 学級	3
	「バランスのよい食事しよう」 ・栄養と食品の関係 ・1食分の献立の検討 ・調理実習	①	(知) 食品の種類とその特徴、栄養と栄養素について理解することができる。 (思) 栄養バランスの取れた食事について考えることができる。 (学) 栄養バランスについて考え、生活の中に取り入れようとする態度を養う。	類型 学級	8
	「高齢の方とお話をしよう」 ・高齢の方との関わり方をしろう ・昔の話を聞こう	①	(知) 高齢者の様子について知り、関わり方の注意点を知る。 (思) 高齢者との関りを適切に行うための工夫について気付く、考える、表現するなどの行動を取ることができる。 (学) 高齢者等に対して自分から主体的に支援に関わろうとする態度を養う。	類型 学級	4
2 学期授業時数					15
3 学 期	「手芸しよう」 ・毛糸で小物の制作	①	(知) 手芸の特徴や工程について知り、段ボール織りの技法を身に付ける。 (思) 良い製品を製作するための課題や工夫について考えたり、表現したりすることができる。 (学) 手芸に関わる製作に主体的・協働的に行おうとする態度を養う。	類型 学級	3
	「住まいや暮らし方を考えよう」 ・健康で快適な住まい ・大掃除	①	(知) 家族の生活と住空間の関りや住居の基本的な機能について知る。 (思) 家族の安全や快適さを考えた住空間について考え、表現する。 (学) 住居の管理について主体的に考え、自分の生活に生かそうとする態度を養う。	類型 学級	3
	「1年間の学習を振り返ろう」	①	(知) 1年間の学習で身につけた家庭生活の知識を確認する。 (思) 将来の家庭生活について、考えようとする力を養う。 (学) 学んだことを生かし、家庭生活に取り入れる態度を養う。	類型 学級	1
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
高等部 第2学年 単一Ⅲ類型	外国語	①外国語「くらしに役立つ英語」(東洋館)			
目標	<p>(知) 外国語の音声や文字、語彙や表現、言語の働きなどについて違いに気付くとともに、読むこと・書くことに慣れ親しみ、聞くこと・話すことを通して、実際のコミュニケーション場面で活用することができる技能を身に付ける。</p> <p>(思) 身近で簡単な事柄について理解し、基本的な表現を用いて自分の考えや気持ちを伝えたり、相手の考えや気持ちを知ったりしながら、コミュニケーションを図ることができる。</p> <p>(学) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学 期	「自己紹介で使える表現」 ・ My name is ○○. ・ Please call me ○○. ・ I am from ○○. 他	①	(知) 手紙で使う表現や人を表す言葉について理解し、簡単な文章を読んだり、意味を確認したりすることができる。 (思) 学んだ英単語やフレーズを使って、自分のことを表現したり、会話を基に相手のことを知ったりすることができる。 (学) 学習する上で必要な文法や、外国の文化・風習を知り、主体的に学ぼうとする態度を養う。	学級	5
	「電話や挨拶で使う表現」 ・ This is ○○ speaking. ・ How are you? ・ Good morning. 他	①	(知) 電話や挨拶で使う単語や表現について理解し、簡単な文章を読んだり、意味を確認したりすることができる。 (思) 学んだ英単語やフレーズを使って、自分のことを表現したり、会話を基に相手のことを知ったりすることができる。 (学) 学習する上で必要な文法や、外国の文化・風習を知り、主体的に学ぼうとする態度を養う。		4
	「挨拶や疑問文の表現」 ・ Do you like ○○? ・ Do you play ○○? ・ Do you have ○○? 他	①	(知) 挨拶や相手の状態を聞きたいときの表現について理解し、簡単な文章を読んだり、意味を確認したりすることができる。 (思) 学んだ英単語やフレーズを使って、自分のことを表現したり、会話を基に相手のことを知ったりすることができる。 (学) 学習する上で必要な文法や、外国の文化・風習を知り、主体的に学ぼうとする態度を養う。		4
1 学期授業時数					13
2 学 期	「相手に尋ねる表現」 ・ Do you want to ~? ・ Can you ~? 他	①	(知) 相手のしたいことや、できることについて尋ねる表現について理解し、簡単な文章を読んだり、意味を確認したりすることができる。 (思) 学んだ英単語やフレーズを使って、自分のことを表現したり、会話を基に相手のことを知ったりすることができる。 (学) 学習する上で必要な文法や、外国の文化・風習を知り、主体的に学ぼうとする態度を養う。	学級	4
	「物事を尋ねる表現」 ・ What is this? ・ What is that?	①	(知) 物の名前を聞いたり、答えたりする表現について理解し、簡単な文章を読んだり、意味を確認したりすることができる。 (思) 学んだ英単語やフレーズを使って、自分のことを表現したり、会話を基に相手のことを知ったりすることができる。 (学) 学習する上で必要な文法や、外国の文化・風習を知り、主体的に学ぼうとする態度を養う。		4
	「場所を説明するときの表現」 ・ next to ~ ・ across from ~ 他	①	(知) 場所を説明するときの表現について理解し、簡単な文章を読んだり、意味を確認したりすることができる。 (思) 学んだ英単語やフレーズを使って、自分のことを表現したり、会話を基に相手のことを知ったりすることができる。 (学) 学習する上で必要な文法や、外国の文化・風習を知り、主体的に学ぼうとする態度を養う。		4
	「異文化理解」 ・ 外国の食、文化、旅行の行程などの調べ学習	①	(知) 外国の食、文化、旅行の行程などを知ることができる。 (思) 調べたことを使って、外国について伝えたり、相手の伝えたいことを知ったりすることができる。 (学) 学習する上で必要な文法や、外国の食、文化、旅行の行程などを学び、主体的に学ぼうとする態度を養う。		3
2 学期授業時数					15
3 学 期	「動詞の現在形・過去形」 ・ am/was ・ speak/spoke ・ He plays tennis today. → He played tennis yesterday. 他	①	(知) 文章を書くときに、現在と過去では動詞の形が変わることを理解し、簡単な文章を読んだり、意味を確認したりすることができる。 (思) 学んだ英単語やフレーズを使って、自分のことを表現したり、会話を基に相手のことを知ったりすることができる。 (学) 学習する上で必要な文法や、外国の文化・風習を知り、主体的に学ぼうとする態度を養う。	学級	3
	「人に依頼するときの表現」 ・ Will you ~? ・ Can you ~?	①	(知) 人に依頼するときの表現について理解し、簡単な文章を読んだり、意味を確認したりすることができる。 (思) 学んだ英単語やフレーズを使って、自分のことを表現したり、会話を基に相手のことを知ったりすることができる。 (学) 学習する上で必要な文法や、外国の文化・風習を知り、主体的に学ぼうとする態度を養う。		4
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
高等部 第2学年 単一Ⅲ類型	情報	①情報「大きな字でわかりやすい ワード2019入門」(技術評論社)			
目標	<p>(知) 身近にあるコンピューターやデータの活用について理解し、基礎的な技能を身に付ける。</p> <p>(思) 身近な事象を知ったり、問題を解決したりするために必要な情報と情報技術を適切に活用する力を身に付ける。</p> <p>(学) 身近にある情報や情報技術を適切に活用し、情報社会に参画しようとする態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「パソコンの基礎知識の習得」 ・コンピューター室の使用方法 ・パソコンの扱い方 ・キーボードの配列 ・文字入力	①	(知) コンピューター室の使用のマナーや注意点、正しいパソコンの扱い方を理解することができる。 (思) パソコンの使用法や基本的操作を確認することができる。 (学) パソコンを正しく活用しようとする態度を養う。	類型 学級	6
	「文書作成実習(1)」 ・文書作成ソフトの活用 ・文書作成ソフトを使った文字入力 ・文書作成 「文章の入力」	①	(知) 制限時間内に多くの文字を入力したり、指定の文書を作成したりすることができる。 (思) 正確に文字を入力することができる。 (学) 作業に達成感を感じ、進んで作業をしようとする態度を養う。		4
	「情報リテラシー(1)」 ・SNSの活用上の注意点 ・インターネットの活用上の注意点		(知) SNSやインターネット使用のマナーや注意点を理解することができる。 (思) SNSやインターネットの正しい使用法を調べたり、確認したりすることができる。 (学) SNSやインターネットを正しく活用しようとする態度を養う。	学級	3
1学期授業時数					13
2 学期	「文書作成実習(2)」 ・文書作成ソフトの活用 ・文書作成ソフトを使った文字入力 ・文書作成 「見た目を整える」 「イラストや写真を使う」 ・パソコン技能検定に向けた取組	①	(知) 制限時間内に多くの文字を入力したり、指定の文書を作成したりすることができる。 (思) 見た目の整え方を知り、体裁を整えることができる。 (学) 作業に達成感を感じ、進んで作業をしようとする態度を養う。	類型 学級	13
	「情報リテラシー(2)」 ・SNSの活用上の注意点 ・インターネットの活用上の注意点		(知) SNSやインターネット使用のマナーや注意点を理解することができる。 (思) SNSやインターネットの正しい使用法を調べたり、確認したりすることができる。 (学) SNSやインターネットを正しく活用しようとする態度を養う。		学級
2学期授業時数					15
3 学期	「タブレット端末実習」 ・タブレット端末の活用 ・学習管理ツールの使用方法 ・パスワード入力 ・返信方法		(知) タブレット端末の基本的な使用方法について理解することができる。 (思) 学習管理ツールの使用方法を知り、パスワードを入力してログインをしたり、文章を入力したりすることができる。 (学) 正しい使用法を身に付け、活用しようとする態度を養う。	類型 学級	2
	「文書作成実習(3)」 ・文書作成ソフトの活用 ・文書作成ソフトを使った文字入力 ・文書作成 「文書に図と表を入れる」	①	(知) 制限時間内に多くの文字を入力したり、指定の文書を作成したりすることができる。 (思) 文書に図と表を入れ、体裁を整えることができる。 (学) 作業に達成感を感じ、進んで作業をしようとする態度を養う。		4
	「情報リテラシー(3)」 ・SNSの活用上の注意点 ・インターネットの活用上の注意点		(知) SNSやインターネット使用のマナーや注意点を理解することができる。 (思) SNSやインターネットの正しい使用法を調べたり、確認したりすることができる。 (学) SNSやインターネットを正しく活用しようとする態度を養う。	学級	1
3学期授業時数					7
総授業時数					35

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書		
高等部 第2学年 単一Ⅲ類型	特別活動			
目標	<p>(知) 友達と協働して様々な活動に取り組み、集団での適切な言葉遣いや行動の仕方を身に付ける。</p> <p>(思) 集団生活における課題を見出し、解決するために話し合ったり、意思決定したりすることができる。</p> <p>(学) 主体的に集団や社会に参画し、人間関係をより良く形成したり、自己実現を図ろうとしたりする態度を養う。</p>			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ学期	「学級組織作り(1)」 ・学級組織作り ・係分担 ・Ⅰ学期の目標決め	(知) Ⅰ学期の取組内容と学級や学校生活の充実に向けて、自分の目標や学級での役割について知ることができる。 (思) 学級や学校生活をスムーズに行うために、話し合いで自分の意見を表現したり、友達の意見を聞いたりしながら課題解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級や学校生活における人間関係をより良く形成し、友達と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	学級	4
	「学部集会(1)」 ・新入生歓迎会	(知) 集団の中で自分の役割の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割に向けた課題を見出し、課題解決に向けての取組について考えることができる。 (学) 友達と協働しながら学校生活の充実のために参画しようとする態度を養う。	類型 学級	1
	「ホームルームでの取組(1)」 ・学級活動、類型活動の計画 ・学級活動、類型活動の実施	(知) 学級における諸問題について、友達と協働して解決する大切さを理解し、解決方法を知ることができる。 (思) 学級における諸問題について、話し合いで自分の意見を表現したり、友達の意見を聞いたりしながら解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級における人間関係をより良く形成し、友達と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	学部 学級	7
	「Ⅰ学期の振り返りと夏休みの生活」	(知) 集団の中で自分の役割の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割に向けた課題を見出し、課題解決に向けての取組について考えることができる。 (学) 自分の現在の生活や学習への取組について振り返り、自立へ向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。	学級	1
Ⅰ学期授業時数				13
2学期	「学級組織作り(2)」 ・学級組織作り ・係分担 ・2学期の目標決め	(知) 2学期の取組内容と学級や学校生活の充実に向けて、自分の目標や学級での役割について知ることができる。 (思) 学級や学校生活をスムーズに行うために、話し合いで自分の意見を表現したり、友達の意見を聞いたりしながら課題解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級や学校生活における人間関係をより良く形成し、友達と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	学級	3
	「ホームルームでの取組(2)」 ・学級活動、類型活動の計画 ・学級活動、類型活動の実施	(知) 学級における諸問題について、友達と協働して解決する大切さを理解し、解決方法を知ることができる。 (思) 学級における諸問題について、話し合いで自分の意見を表現したり、友達の意見を聞いたりしながら解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級における人間関係をより良く形成し、友達と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	類型 学級	9
	「文化祭の取組」 ・文化祭活動や当日の計画	(知) 活動の内容や活動の計画を理解することができる。 (思) 活動における改善点を考えたり、活動の嗜好や楽しさを感じたりする態度を養う。 (学) 友達と協力して活動する態度、集団での活動する際のマナーや心構えを身に付ける。	学級	2
	「2学期の振り返りと冬休みの生活」	(知) 集団の中で自分の役割の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割に向けた課題を見出し、課題解決に向けての取組について考えることができる。 (学) 自分の現在の生活や学習への取組について振り返り、自立へ向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。	学級	1
2学期授業時数				15
3学期	「学級組織作り(3)」 ・学級組織作り ・係分担 ・3学期の目標決め ・一年間の振り返り	(知) 3学期の取組内容と学級や学校生活の充実に向けて、自分の目標や学級での役割について知ることができる。 (思) 学級や学校生活をスムーズに行うために、話し合いで自分の意見を表現したり、友達の意見を聞いたりしながら課題解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級や学校生活における人間関係をより良く形成し、友達と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	学級	2
	「生徒会選挙の取組」 ・立候補者演説 ・投票の仕方を知る。 ・投票 ・委任状渡し	(知) 学校生活の充実ため、生徒会の組織作りを行う生徒会選挙の目的を理解し、選挙の投票の仕方を知ることができる。 (思) 生徒会選挙の目的を理解し、立候補者の意見を聞きながら自分で判断して投票することができる。 (学) 友達と協働しながら学校生活の充実のために参画しようとする態度を養う。	学部 学級	2
	「ホームルームでの取組(3)」 ・学級活動、類型活動の計画 ・学級活動、類型活動の実施	(知) 学級における諸問題について、友達と協働して解決する大切さを理解し、解決方法を知ることができる。 (思) 学級における諸問題について、話し合いで自分の意見を表現したり、友達の意見を聞いたりしながら解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級における人間関係をより良く形成し、友達と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	類型 学級	2
	「学部集会(2)」 ・3年生を送る会	(知) 集団の中で自分の役割の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割に向けた課題を見出し、課題解決に向けての取組について考えることができる。 (学) 友達と協働しながら学校生活の充実のために参画しようとする態度を養う。	学部 学級	1
3学期授業時数				7
総授業時数				35

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書		
高等部 第2学年 単Ⅲ類型	自立活動			
目標	<p>(知) 自分の課題を改善し・克服し、自立し、社会参加をするための知識や技能を身に付けることができる。</p> <p>(思) 自己評価や相互評価を行いながら自分の課題を見つめ、支援を求めたり、仲間と協力したりして課題を解決しようとすることができる。</p> <p>(学) 卒業後の社会的自立の実現に向け、自分の良さや課題について振り返り、周囲の人と協働しながら改善したり努力したりする気持ちを養う。</p>			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「個別課題」	(知) 自立と社会参加をするために必要な知識や技能の中で、自分の課題となるものに取り組むことができる。 (思) 自分の課題を解決するために自ら工夫したり、支援を求めたり、仲間と協力したりすることができる。 (学) 自分の課題に対する取組を振り返り、良さや改善点を確認し、次に生かそうとする気持ちを養う。	学級 個別 類型	8
	「運動を習慣化しよう」 【1健康の保持- (5)】 【身体の動き- (1)】 ・体幹トレーニング ・リラックス運動 ・ランニング ・ラジオ体操第1、第2、ヨガ、ストレッチ	(知) 日常生活や就労に必要な動作の基本となる姿勢保持や体幹を鍛える基本的技能を身に付けることや、体力を付けることができる。 (思) 日常生活における適切な健康の自己管理を行うことができる。 (学) 自分の姿勢保持や運動・動作における課題を理解し、自ら対応できる力を養う。		6
	「仲間と気持ち良く過ごすために」 【2心理的な安定- (1)】 ・気持ちを伝える言葉、リラクゼーション ・気持ちの切り替え、ミニゲーム、トーキングゲーム など	(知) 気持ちを表現する言葉や自分の気持ちを落ち着けられる方法を理解することができる。 (思) 気持ちを表現する言葉や自分が落ち着ける方法を活用し、仲間とともに安心して過ごすことができる。 (学) 自分の状況を理解し、自ら対応できる力を養う。		6
	「作業学習に必要な動作を身に付けよう」【5身体 の動き- (5)】 ・目と手の協応動作、手足の協調運動 ・ビジョントレーニング ・コグトレ	(知) 作業を進めるにあたって必要な手指の巧緻性や持続性を高めることができる。 (思) 自分の課題を知り、改善を図るために最後まで取り組むことができる。 (学) 自分の良さや課題について知り、改善をしたり努力したりする気持ちを養う。		6
1 学期授業時数				26
2 学期	「個別課題」	(知) 自立と社会参加をするために必要な知識や技能の中で、自分の課題となるものに取り組むことができる。 (思) 自分の課題を解決するために自ら工夫したり、支援を求めたり、仲間と協力したりすることができる。 (学) 自分の課題に対する取組を振り返り、良さや改善点を確認し、次に生かそうとする気持ちを養う。	学級 個別 類型	12
	「正しい言葉を知り、活用しよう」 【6コミュニケーション- (3)】 ・アイスブレイク ・他己紹介ゲーム ・質問・報告の仕方 ・電話の掛け方・取り方	(知) 言葉の意味や正しい文章を知り、自己の行動等に対応した言語の概念の形成を図ることができる。 (思) 言葉の意味を正しく理解し、コミュニケーションを取る中で、適切に使うことができる。 (学) 相手とのやり取りを円滑に行い、積極的にコミュニケーションを取ろうとする態度を養う。		6
	「運動を習慣化しよう」 【1健康の保持- (5)】 【身体の動き- (1)】 ・体幹トレーニング ・リラックス運動 ・ランニング ・ラジオ体操第1、第2、ヨガ、ストレッチ	(知) 日常生活や就労に必要な動作の基本となる姿勢保持や体幹を鍛える基本的技能を身に付けることや、体力を付けることができる。 (思) 日常生活における適切な健康の自己管理を行うことができる。 (学) 自分の姿勢保持や運動・動作における課題を理解し、自ら対応できる力を養う。		6
	「自分をコントロールしよう」 【3人間関係の形成- (3)】 ・アンガーマネジメント	(知) 自分の気持ちを視覚化し、集団の中で状況に応じた行動をすることができる。 (思) 学習を通して自己状態を分析したり、行動を調整したりすることができる。 (学) 自分の状態を理解し、自ら対応できる力を養う。		6
2 学期授業時数				30
3 学期	「個別課題」	(知) 自立と社会参加をするために必要な知識や技能の中で、自分の課題となるものに取り組むことができる。 (思) 自分の課題を解決するために自ら工夫したり、支援を求めたり、仲間と協力したりすることができる。 (学) 自分の課題に対する取組を振り返り、良さや改善点を確認し、次に生かそうとする気持ちを養う。	学級 個別 類型	2
	「スケジュール管理をしよう」 【4環境の把握- (3)】 ・スケジュールの確認 ・メモの取り方	(知) 自分の日程を把握し、今後の行動に見通しをもつことができる。 (思) 自分の行動を視覚的に把握し、行動を調整することができる。 (学) 自分の状況を理解し、自分から対応しようとする態度を養う。		6
	「正しい言葉を知り、活用しよう」 【6コミュニケーション- (3)】 ・言葉集め、説明しりり等のミニゲーム ・コミュニケーションスキル、すごろく ・ペア活動	(知) 言葉の意味、正しい文章を知り、自己の行動等に対応した言語の概念の形成を図ることができる。 (思) 言葉の意味を正しく理解し、コミュニケーションをする中で適切に使うことができる。 (学) 相手とのやり取りを円滑に行い、積極的にコミュニケーションを取ろうとする態度を養う。		6
3 学期授業時数				14
総授業時数				70

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書		
高等部 第2学年 単一Ⅲ類型	総合的な探究の時間			
目標	<p>(知) 実生活と自己の関わりから課題を見付けたり、課題を解決したりすることの大切さを知る。</p> <p>(思) 課題を解決していくために必要な情報を集め、整理して表現することができる。</p> <p>(学) 課題の解決に向けて主体的かつ協働的に取り組み、より良い社会を実現しようとする態度を養う。</p>			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
1 学 期	「総合的な探究の時間について知ろう」 ・オリエンテーション	(知) 1年間の総合的な探究の時間について大切さを理解する。 (思) 1年間の総合的な探究の時間について知り、そのために身に付けておくことを考える。 (学) 総合的な探究の時間についての必要性を感じ、意欲・関心を高める。	学級	1
	「平和について考える」	(知) 「平和」の意味や生活の中にある「平和」について考えたり、平和都市広島で生活する人間として、どのような平和の発信ができるかについて考えたりすることができる。 (思) 情報機器を使用して自ら調べたり、情報を取捨選択したりしながら、自分の意見をまとめたり、発表したりすることができる。 (学) 課題解決に仕組み、周囲へ発信したり、仲間と一緒に活動したりすることを通して、仲間や社会とのより良い関係を作ろうとする態度を養う。	学級	4
	「身近なICTの使い方について知ろう」 ・ネットワークの使い方 ・SNSトラブルについて ・適切な使用を目指して	(知) 身近にあるネットワークやSNSが人や社会に及ぼすことについて知ることができる。 (思) ネットワークやSNSとの関わり方について考えたり、発表したりすることができる。 (学) 正しいインターネットの使い方を知り、責任ある行動をしようとする態度を養う。	学級	4
	「国際理解学習」 ・外国の文化について知る。 ・会話や音楽など体験・交流をする。	(知) 世界の文化に触れることで、国際理解学習の必要性について知る。 (思) 世界の言語や音楽、食文化などを知り、見聞を広める。 (学) 国際理解学習について興味関心を深める。	類型 学級	4
1 学期授業時数				13
2 学 期	「ボランティア活動をしよう」 ・オリエンテーション ・学校(本校舎外周) 清掃	(知) 学校や地域にある課題を見付け、学校や地域のためにできることについて考えたり、活動したりすることができる。 (思) より良い活動するために意見を伝える、情報を収集・分析する、それに基づき改善するなどの活動を行うことができる。 (学) 課題解決に向けて主体的かつ協働的に活動し、充実した活動にしようとする態度を養う。	類型 学級	3
	「修学旅行の取組(1)」【校外学習】 ・オリエンテーション ・役割分担 ・目標決め ・係会	(知) 修学旅行の活動先やその地域のことについて理解することができる。 (思) 修学旅行の活動先や地域のことについて、情報機器を使って調べたり、まとめたりして、表現することができる。 (学) 修学旅行に期待感をもち、意欲的に活動しようとする気持ちを養う。	類型 学級	8
	「修学旅行の取組(2)」 ・係会 ・活動計画 ・広島駅下見 ・しおり作成 ・マナーの学習 ・結団式 ・事後学習	(知) 修学旅行の活動先やその地域のことについて理解することができる。 (思) 修学旅行の活動先や地域のことについて、情報機器を使って調べたり、まとめたりして、表現することができる。 (学) 修学旅行に期待感をもち、意欲的に活動しようとする気持ちを養う。	類型 学級	4
2 学期授業時数				15
3 学 期	「修学旅行の取組(2)」 ・係会 ・活動計画 ・広島駅下見 ・しおり作成 ・マナーの学習 ・結団式 ・事後学習	(知) 修学旅行の活動先やその地域のことについて理解することができる。 (思) 修学旅行の活動先や地域のことについて、情報機器を使って調べたり、まとめたりして、表現することができる。 (学) 修学旅行に期待感をもち、意欲的に活動しようとする気持ちを養う。	類型 学級	7
3 学期授業時数				7
総授業時数				35